

たたかい空前

日本の未来に希望



▲国会を取り囲み、戦争法案廃案、安倍首相退陣を求めてコールする人たち=8月30日、国会正門前

戦争法廃案のたたかいは、空前の高まりとなりました。労組が動員をかけた60年安保闘争とは違い、一人ひとりが「いま声をあげなければ」と自発的に立ち上がりました。戦後70年、憲法の理念が根を下ろしていることを示しています。

シールズ SEALDsなど青年・学生のたたかいが急速に広がり、ママさんたちも立ち上がりました。日本の未来への明るい希望です。

日本共産党

学者、法曹
芸能人、青年

「黙ってられない」と声

元最高裁判所長官・山口繁さん「少なくとも集団的自衛権の行使を認める立法は、違憲と言わねばならない」(「朝日」9月3日付)

元内閣法制局長官・大森政輔さん「(集団的自衛権の)行使容認の判断は独断」「無効と解すべきだ」(同8日、参院安保特別委)

前日本学術会議会長・広渡清吾さん
与党の暴走について「反知性主義を感

ずる」(16日、地方公聴会)

落語家・笑福亭鶴瓶さん「(政府が)変な方向に行っている。(憲法)9条はいろたら(いじったら)あかん」(「毎日」16日付)

シールズ SEALDs・奥田愛基さん「仮にこの法案が強行されるようなことになれば、全国各地でこれまで以上に声が上がるとでしょう。むしろそこから始まっていくのです」(15日、中央公聴会)

戦争法

廃止の国民連合政府つくりろ

強行採決

この暴挙許さない

日本を「海外で戦争する国」につくり変える憲法違反の戦争法を安倍政権と自民党、公明党が強行しました。立法の根拠は総崩れ、反対にも耳を貸さず、国会のルールすら踏みにじる—憲政史上最悪の暴挙です。

成立したからと言って平和と国民の命を危険にさらす戦争法を放置することはできません。法を廃止するには衆・参院選で

廃止に賛成する勢力が多数を占め、国会で廃止の議決をすること、集団的自衛権行使の「閣議決定」を撤回することが必要です。

日本共産党は安倍政権を打倒し、戦争法廃止、立憲主義を取り戻すという一点で共同し「戦争法廃止の国民連合政府」をつくることを呼びかけます。思想・信条、立場の違いを乗り越えて力を合わせましょう。

日本共産党 今こそ安倍政権打倒を

近畿民報

2015年9月 No.4(第211号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

▲2万人が参加した大阪御堂筋のデモで11月9日

折り返し